

問1 音をつたえているもののふるえを止めると、音はどうなりますか。

問2 ^{たいこ}太鼓（たいこ）をたたいて大きい音を出したとき、^{たいこ}太鼓の皮のふるえ方はどうなっていますか。

問3 虫めがねを使って日光を紙にあてるとき、紙にあたっている明るい部分の大きさをかえるためには、何をかえればよいですか。

問4 虫めがねと紙のきよりをいろいろとかえると、紙にあたっている日光の明るい部分はどうかになりますか。

問5 かがみではね返した日光を日かげに^お置いた温度計に当てると、温度計の目もりはどうなりますか。

問6 出ている音を止めたいとき、どのようにすればよいですか。

問7 かがみではね返した日光をかべに当てたとき、日光が当たったところの様子はどうかになりますか。

問8 ^{がっき}楽器（がっき）から小さい音を出したいとき、もののふるえ方はどのようにすればよいですか。

問9 かがみではね返した日光を、同じ場所にたくさん重ねて当てると、当たっている場所の明るさと温度はどうなりますか。

問10 虫めがねを使って日光を1つの場所に集めると、日光が当たった部分は、まわりのほかの部分とくらべてどのようになりますか。

問11 かがみではね返した日光を重ねる^{まいすう}枚数を、3枚から5枚に増やすと、当たっている場所の^{へんか}明るさと温度はどう変化しますか。

問12 かがみではね返した日光を、日かげのかべに当てるとき、光の通り道はどのようになっていますか。

問13 虫めがねで日光を集めるとき、日光が当たる明るい部分の大きさを小さくしていくと、その部分はどのようになりますか。

問14 かがみを使ってはね返した日光は、どのように進みますか。

問15 音がつたわるとき、音をつたえているものはどのようになっていますか。

問16 ものから音が出るとき、そのものはどのようになっていますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え つたわらなくなる	音をつたえているもののふるえを止めると、音はつたわらなくなります。
問2	答え 大きくふるえている	大きい音が出るときは、音を出しているもののふるえが大きくなります。
問3	答え 虫めがねと紙のきより	虫めがねと紙のあいだのきよりをかえると、日光が当たっている明るい部分の大きさをかえることができます。
問4	答え 明るい部分の大きさがかわる。	虫めがねと紙のあいだのきよりをかえることで、日光が当たっている明るい部分の大きさがかわります。
問5	答え 上がる	はね返した日光が当たるとその場所の温度が高くなるため、温度計の目もりは上がります。
問6	答え もののふるえを止める	もののふるえを止めると、出ている音はとまります。
問7	答え 明るくなり、温度が高くなる	かがみではね返した日光が当たったところは、光が当たることで明るくなり、温度も高くなります。
問8	答え ふるえを小さくする	小さい音が出るときは、音を出しているもののふるえが小さくなります。
問9	答え 明るくなり、温度が高くなる	はね返した日光をたくさん重ねて当てると、当たっているところは、より明るくなり、より温度が高くなります。
問10	答え まわりよりも明るくなる	虫めがねで日光を集めると、日光が当たった部分はほかの部分よりも明るくなります。
問11	答え さらに明るくなり、さらに温度が高くなる	日光を重ねる枚数 <small>まいすう</small> を増やす（たくさん重ねる）ほど、当たっているところはより明るくなり、より温度が高くなります。
問12	答え まっすぐな線のようにになっている	はね返した日光はまっすぐに進むため、かべ <small>とど</small> に届くまでの通り道もまっすぐな線になります。
問13	答え さらに明るくなり、あつくなる	虫めがねで集めた日光の明るい部分を小さくするほど、その部分は明るくなり、あつくなります。
問14	答え まっすぐに進む	かがみではね返した日光は、曲がったりせずにまっすぐに進む性質 <small>せいしつ</small> があります。
問15	答え ふるえている	音がつたわるとき、音をつたえているものはふるえています。
問16	答え ふるえている	ものから音が出るとき、そのものは細かくふるえています。